

製品名: BMP-1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07587

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BMP1 PCOLC
別名	Bone morphogenetic protein 1 (BMP-1; EC 3.4.24.19; Mammalian tolloid protein; mTld; Procollagen C-proteinase; PCP)
遺伝子 ID	649.0
SwissProt ID	P13497
免疫原	アミノ酸配列範囲: 131-180 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

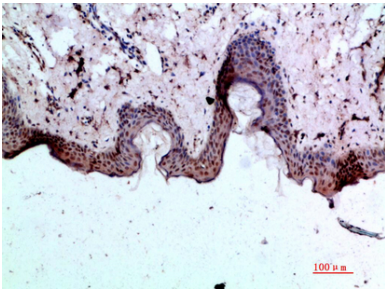
背景

この遺伝子は、生体内で軟骨の形成を誘導するタンパク質をコードしています。他の骨形成タンパク質は TGF- β スーパーファミリー

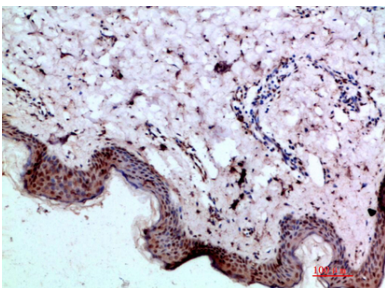
に属しますが、この遺伝子は他の既知の成長因子とは近縁ではないタンパク質をコードしています。この遺伝子は、N末端プロテアーゼドメインを共有するもののC末端領域が異なる、選択的スプライシングバリエーションとして発現します。[RefSeq提供、2008年8月]、触媒活性: I型およびII型プロコラーゲンではAla-|-Asp、III型ではArg-|-AspにおけるC末端プロペプチドの切断。、補因子: サブユニットあたり1個の亜鉛イオンと結合。、酵素調節: プロコラーゲンCエンドペプチダーゼエンハンサータンパク質によって活性が上昇。、機能: I型、II型、III型プロコラーゲンのC末端プロペプチドを切断する。軟骨および骨の形成を誘導する。初期発生において、コーディン(CHRD)を切断することで背腹方向のパターン形成に関与する可能性がある。、類似性: ペプチダーゼM12Aファミリーに属する。、類似性: 2つのEGF様ドメインを含む。、類似性: 5つのCUBドメインを含む。、組織特異性: 普遍的。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された